

クレジット取引セキュリティ対策協議会
EMV 3-Dセキュア導入ガイド1.2版
サマリー版
2023年1月31日

目次

1. はじめに
2. EMV 3-Dセキュアについて
3. EMV 3-Dセキュアのリスクベース認証について
4. EMV 3-Dセキュアの不正リスク負担
5. 導入手続きについて
6. 個人情報の取扱いに関する同意取得について

※本導入ガイドサマリー版は、EMV3-Dセキュア導入ガイドから抜粋して作成したものであるため、詳細はEMV3-Dセキュア導入ガイドを参照いただきたい。

はじめに

(導入ガイド P3)

■ 目的と背景

- 非対面取引でのクレジットカード利用は拡大する一方で、不正利用も増加しており、同分野における不正利用対策の強化は喫緊の課題である。
- 非対面取引加盟店における不正利用対策の具体的方策の1つに、EMV 3-D セキュアの導入を掲げている。
- この状況を受け、カード会社(アクワイアラーおよびイシュア)、PSPには、EMV 3-D セキュアの導入態勢整備を求めている。
- これらの状況を受けて、クレジット取引セキュリティ対策協議会では、EMV 3-D セキュア導入のためにEMV 3-Dセキュア導入ガイドを作成した。

EMV 3-Dセキュアについて

(導入ガイド 1章 P5,6)

EMV 3-Dセキュアは、オンラインショッピング時にクレジットカード番号等の情報の盗用による不正利用を防ぎ、安全にクレジットカード決済を行うための本人認証サービス。パスワード入力負荷の軽減やユーザビリティの改善によりクレジットカード決済時の離脱(カゴ落ち)の改善が見込まれます。

旧3Dセキュア (2022年10月 サービス終了)	EMV 3-Dセキュア			
	特長	内容	メリット	
			会員	加盟店
全取引に パスワードを 毎回入力	パスワード入力 負荷を低減	・原則リスクベース認証のみとなり、会員へのパスワード要求が不要(フリクションレス)※	入力負荷軽減	取引離脱 (カゴ落ちの減少)
固定パスワード で一律認証	ワンタイム パスワードによる 本人認証	・中リスク判定時のみワンタイムパスワードなどによる追加認証を実施	パスワード漏洩による不正リスクの軽減	会員のパスワード忘れによる機会損失の軽減
ブラウザ取引 のみ	スマホアプリへの 対応	・ブラウザに加え、スマートフォンやタブレットのアプリ内決済に対応	利便性向上	認証強化

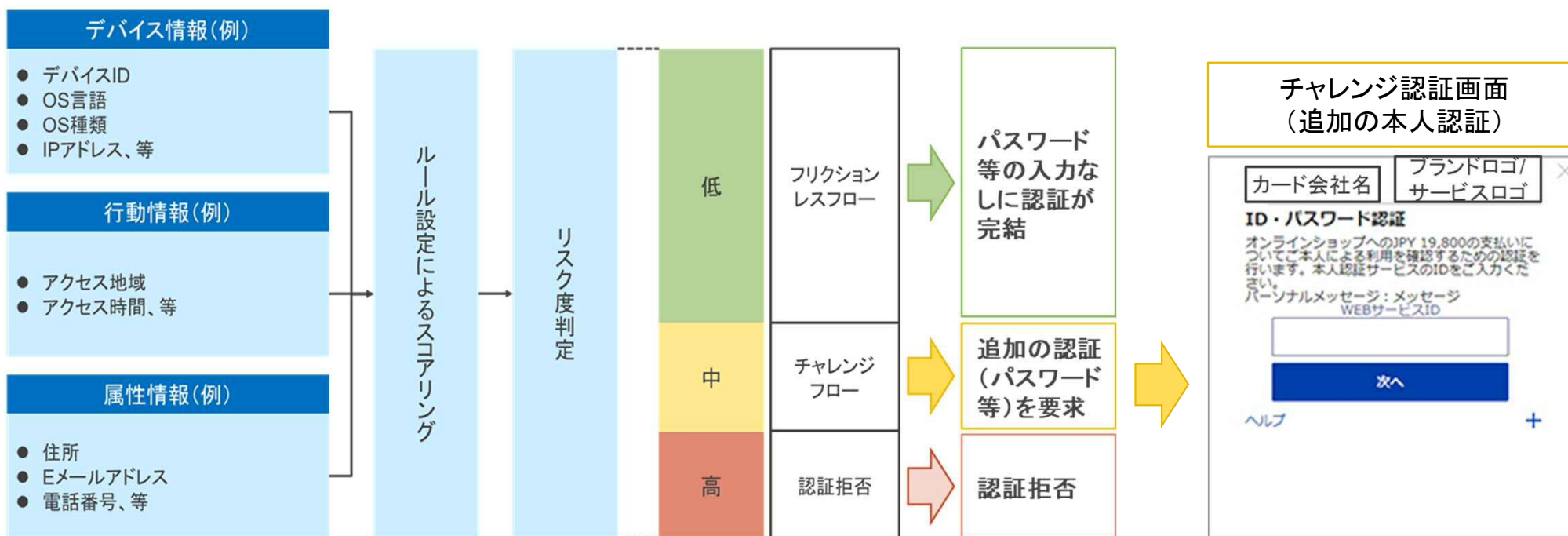
※リスクベース認証については次ページで説明

EMV 3-Dセキュアのリスクベース認証について

(導入ガイド 1章 P7)

リスクベース認証とは、ネット通販で使用するパソコンやスマートフォンにおける機器やネットワークの情報から不正使用を判定する手法で、認証(スコアリング)によるリスク度判定によって、認証処理が異なります。

リスクベース認証のイメージ



EMV 3-Dセキュアの不正リスク負担

(導入ガイド 1章 P8)

EMV 3-Dセキュアを実装した取引のうち、認証成功、カード会社もしくは会員未参加の取引において不正利用が発生した場合、原則リスク負担はカード会社となります。
(詳細は契約するカード会社(アクワイアラー)、PSP等への確認が必要)

EMV 3-Dセキュアの不正リスク負担(表)

	ステータス	リスク負担
1	EMV 3-Dセキュア認証成功	加盟店は免責対象※1
2	会員のカード発行会社 または会員がEMV 3-Dセキュア未参加	
3	EMV 3-Dセキュア認証取引外	加盟店※2は免責対象外

※1 カード登録時にEMV 3-Dセキュア認証していても、以降の取引時にもEMV 3-Dセキュア認証しない限りは免責対象外となる。

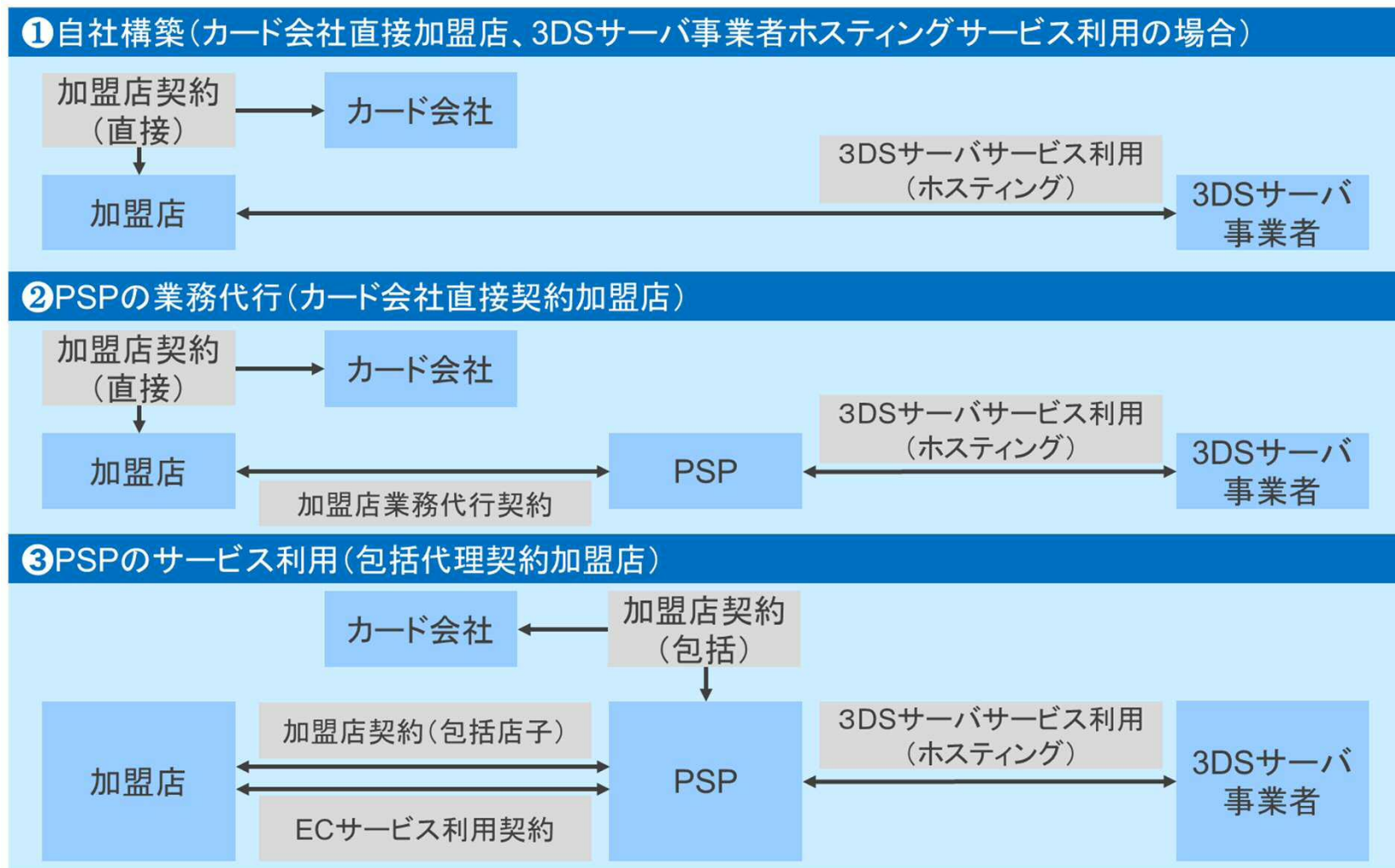
※2 契約のカード会社(アクワイアラー)との契約内容による。

導入手続きについて

(導入ガイド 2章 P16~21)

加盟店によって契約形態は異なりますが、いずれの契約形態においてもEMV 3-Dセキュアの導入未対応の場合は、契約するカード会社(アクワイアラー)及びPSPに詳細の確認をお願いします。

導入形態について



個人情報の取扱いに関する同意取得について

(導入ガイド 3章、4章 P26～33)

EMV 3-Dセキュアで利用できるデータ項目には個人情報又はそれになり得る情報が含まれることがあるため、加盟店がカード会員から情報提供にかかる同意を取得する必要があります。

個人情報保護法の遵守

- 利用できるデータ項目の中には個人情報又はそれに準ずる情報が含まれる。
- 従って、加盟店が個人情報取扱事業者としてこれらの項目を取り扱う為には、情報主体であるカード会員から、情報取得・利用・提供にかかる同意を取得するなど、個人情報保護法などの関連する法令等を遵守することが求められている。

システム開発要件

- EMV 3-Dセキュアの導入の際には、開発が必要になります。詳細は、「導入ガイド」3章を確認のうえ、委託先などにご依頼いただきたい。

「同意取得」に係るサンプル画像(例)

【具体例1】



【具体例2】

